

6月からおたふくかぜ予防接種費用を助成 併せて風しん検査等の無料クーポン券を発送し、感染症への対策を強化

久留米市は、全額自己負担となっている「おたふくかぜ予防接種」に対し、6月から助成を行います。同費用への助成は、県内で4番目。(宗像市、福智町、うきは市が既に実施)

また、風しんの抗体検査や予防接種を無料で受けられるクーポン券を発送します。今年度の対象者は、ワクチン接種の機会がなかった40歳～47歳の男性。国が、3年間予防接種等を無料とする制度を開始したことを受け、本市が発送するもの。

1 おたふくかぜ予防接種費用への助成

- ・ 開始時期：令和元年6月1日（土）
- ・ 対象者：平成30年4月2日以降に生まれた1歳以上2歳未満の者
- ・ 助成額：3,000円
- ・ 助成方法：予防接種費用から助成額を差し引いた額を医療機関で支払う。
- ・ その他：上記対象者のうち、今年4～5月にすでに接種している者に対しては、助成相当額の払い戻しを行う。

2 風しん抗体検査等の無料クーポン券発送

- ・ 発送時期：令和元年6月上旬予定
- ・ 対象者：昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性
(昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生まれの男性には、次年度以降の発送を予定。希望者にはクーポン券を発送。)
- ・ 発送件数：約15,000件

【参 考】

おたふくかぜ：耳や顎の下の腫れや痛み、発熱や頭痛等の症状が現れ、合併症として髄膜炎や難聴を引き起こす。

風しん：強い感染力を有し、特に成人で発症した場合、小児より重篤化することがある。
また、妊娠初期の妊婦が感染すると、先天性心疾患、難聴などの先天性風しん症候群の子どもが生まれてくる可能性がある。